

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
笹川 実千代			
水4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>1989年に改正された学習指導要領で小学校低学年(1・2学年)に新設された教科である。その目標は「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする(2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする(3)身近な人々と、社会及び事前に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う」こととされている。</p> <p>本授業では、生活科の目標や学習内容を理解し、入学当初のスタートカリキュラム、また3学年以降の「総合的な学習の時間」や社会・理科への連続性も概観するとともに、生活科ができた背景や生活科がめざす「生きる力」の育成についても理解を図る。</p> <p>また、初等教科教育法「生活」の講義につながるよう、具体的な授業展開も視野に入れた授業とする。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション(学習指導要領と生活科) 学習指導要領解説「生活」の改訂の経緯を読んでおくこと。</p> <p>第2回 生活科の誕生と学習指導要領改訂 生活科の誕生経緯を調べておくこと。</p> <p>第3回 生活科の目標とその趣旨、学年目標とその内容構成、階層性について 学習指導要領解説編P.23～P.27を読み、概要を捉える。</p> <p>第4回 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」について① 生活科の内容「学校と生活」について、具体的な展開例をもとに、ねらいを理解する。</p> <p>スタートカリキュラムの趣旨と内容について理解する。 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」について② 具体的な単元「大きくなあれ わたしの 野さい」をもとに、夏野菜の栽培活動を行う。</p> <p>第6回 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」について③ 生活科の内容「家庭と生活」「地域と生活」について、具体的な展開例をもとに、ねらいを理解する。</p> <p>第7回 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」について① 生活科の内容「公共物や公共施設の利用」「季節の変化と生活」について、具体的な展開例をもとに、ねらいを理解する。</p> <p>第8回 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」について② 生活科の内容「自然や物を使った遊び」について、ねらいを理解する。</p> <p>第9回 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」について③ 生活科の内容「自然や物を使った遊び」について、身近な自然や身近にある物を使って遊ぶ活動を行い、ねらいを理解する。</p> <p>第10回 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」について③ 生活科の内容「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の伝え合い」について、ねらいを理解し、ポートフォリオを活用する有効性に気付く。</p> <p>第11回 「自分自身の生活や成長に関する内容」について 生活科の内容「自分の成長」について、その狙いを理解する。</p> <p>第12回 指導計画について 2年間の生活科の指導計画について、振り返る。 学習指導要領解説編「生活」の第4章P.52～P.67を読み、指導計画作成上の配慮事項を理解する。</p> <p>第13回 生活科における学習評価の在り方について ポートフォリオなどを活用した形成的評価について理解する。</p> <p>第14回 幼児教育と生活科、総合的な学習の時間と生活科 就学前教育と第3学年以降の学修の連続性について理解する。</p> <p>第15回 まとめ 定期試験</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活科」の目標及び内容を理解する。 ・「生活科」の特性について理解し、活動内容・方法・評価の実際を知る。 ・幼児教育・小学校3学年以降の学習への連続性を理解する。
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・小グループによるディスカッション ・授業参観 <p>等</p>

成績評価の方法	期末テスト 60% 提出物30% 授業参加態度10%
教科書・テキスト	小学校学習指導要領解説（平成29年告示） 生活編 児童用教科書 せいかつ 東京書籍
参考書	特に指定なし
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	身近な生活（自然や社会）に関心を持ち、積極的に関わっていくようにする。また、不思議に思ったり感動したりする感性を育てる世にする。
履修上の留意事項	
オフィスアワー	火曜日11：00～13：00
担当教員への連絡方法	研究室 4-501
その他	